

## 「互禄会 at 長崎」

学部29回 山下公一

いやあ～同窓会って、つくづく良いものですね。この年齢になるとしみじみと、そう思います。

互禄会（ごろくかい）は昭和56年卒および卒業しなかった仲間の同窓会です。最近は数年に一度、全体での会を開いています。直近では福岡、大阪、そして今回の長崎と、全国持ち回りで開催しています。また、各地区単位、あるいは出張や里帰りで来た仲間を囲んでの会も、ちょこちょこ開催しています。同窓会のグループLINEを通じて画像や情報を共有、連携しています。

さて、今回は皆が前期高齢者となった区切りの同窓会。3月28日（木）と年度末、平日の開催にもかかわらず38名の仲間が長崎に集まりました。関東から9名、関西から6名、山陰から2名、九州（長崎以外）から9名、そして長崎から12名。

関東から長崎まで、各地の風景や電車をカメラに収めながら車で来た強者もいました。同窓会の前日頃から、「空港に着いた！」「片淵キャンパスにいます！」「フラワーメイトでトルコライス！」「やっぱり三八ラーメン！」等、グループLINEに続々と投稿され、皆の気持ちが高まってきます。

いよいよ同窓会当日。瓊林会の赤いハッピーをまとい、長崎駅の西口にてお出迎え。会場は長崎ルークプラザ。学部31回、野球部の松尾さんには大変にお世話になりました。

まずは、亡くなってしまった11名の仲間、飯塚さん、泉さん、香田さん、神田さん、小森（祐之）さん、白倉さん、高木さん、出口さん、日名子さん、村上さん、諸正さんに黙祷を捧げました。

馬場さんの乾杯の発声により賑々しく開会。卒業以来という仲間もいましたがすぐに、学生時代の懐かしい思い出ばなし、あるいはリタイア後生活の様子、子供や孫のこと、病気のことなどの互いの近況のはなしに花が咲き、どのテーブルも笑顔そして笑顔です。

余興は母娘の変面師による「変面ショー」。素早く面が変わり、間近で見てもわからず驚きの喚声につつまれました。我々の学生時代には馴染みがなく大変な盛り上がりとなりました。

その後、近況報告などを行っているうちにあっという間に時は過ぎていきました。そして皆で肩を組み、渡辺さんの巻頭言により「暁星淡く」を大声で歌い、増田さんの音頭による万歳三唱、森さんの音頭による一本締めで無事閉会しました。

写真は、開会前に撮影した集合写真。そして一本締めの後に「東京での同窓会に行くと約束する人、手を上げて！」の証拠写真です。そういうことで今回は東京開催となりました。

二次会は丸山のお店。舞台上でカラオケに興じ、あるいはドラムを叩いて楽しい夜は続くのでした。3次会以降は三々五々、夜は更に深まるのでした。

翌日は希望者を募り市内観光。深酒した翌朝でもあり、ちょっと遅めの10時に集合し、まずは孔子廟&中国歴代博物館。出島ワープのテラス席でヨットを眺めながら、トルコライス、ビール。そして軍艦島周遊クルーズ。天気は良かったのですが波が高く、残念ながら上陸ならず。それでも皆満足の観光となりました。

以上。